

## 危機を乗り越える柔軟な体制へ — 団結して医療に取り組む歯科医院での組織づくりとは —

株式会社デンタルタイアップ 小原 啓子  
宮城県石巻市 医療法人T&K坂井おとなこども歯科 坂井 清隆

新型コロナウイルスは、全世界へ向けて多くの問題を提示し、様々な変化を求めてきました。この対応は、歯科業界においては長年行ってきた標準的予防策の徹底と、新しい防御の在り方を問いました。

私共の業界から発する新しい日常への提言は、口腔の健康が及ぼす全身疾患管理の重要性であり、臨床現場での感染が歯科治療を通しての事例がほとんど出ていないことを踏まえ、歯科医療を継続して受けていただくための安全と安心です。危機的状況の中から、歯科医院としての確たる仕組みづくりが求められ、環境に適合できる柔軟な組織体制が必要となっています。

しかし、世の中では、コロナ禍でなくとも、世界的な紛争や経済危機、震災等の状況に一つずつ対応してきた歴史があります。その都度、我々は、新しい環境下での体制を創り上げてきました。

日本の医療現場においては、人口構造の変化に対応すべく、医療法の改正が続き、それに基づき平成27年3月に「医療分野の“雇用の質”向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き（改訂版）」が発刊されました。

しかし、このマネジメントシステムは、他の業界においてはすでに浸透しており、日本の各企業はいち早く対応しながら世界での経済活動において切磋琢磨して活動しています。デンタルタイアップにおいても、2007年から歯科医療に対してのマネジメントシステム導入を謳ってまいりました。

この度は、石巻市でご開業の医療法人T&K坂井おとなこども歯科さんと共に、組織づくりの提案をさせていただきます。

2011年3月11日の東日本大震災後、人の働く姿勢や意味は大きく変わってきました。この歯科医院においても同様であり、勤務時間、組織体制、環境改善、組織の見える化、人材育成システム、数字の見える化、独自性の確立等を通して、組織の強化が図られました。

この度は、院長の柔らかなリーダーシップの中で、仕事や家庭を問いながら進められた組織づくりを報告することで、新しい未来への礎の一助になればと願っています。



小原 啓子 先生

**略歴**

- 1980年 広島歯科衛生士専門学校卒業
- 1980～2007年 広島県歯科医師会にて、歯科衛生士学校、口腔保健センター、公衆衛生活動に従事
- 2004年 産業能率大学卒業後、広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻（経営戦略研究室）修了
- 2007年 デンタルタイアップ設立後2011年に法人化
- 2015年 神奈川大学短期大学部客員教授

(株) デンタルタイアップは、広島県仕事と家庭の両立支援企業登録・広島県働き方改革実践企業認定  
 ビジネス・イノベーション・アワード2018「歯科医療業界働き方改革賞」を受賞



坂井 清隆 先生

**略歴**

- 2002年 岩手医科大学歯学部卒業
- 2002～2006年 安田歯科医院、池田インプラントセンター勤務（大阪府）
- 2006年～ 江上歯科勤務（大阪府）
- 2007年～ 長谷歯科勤務（非常勤：大阪府）
- 2009年10月 坂井おとなこども歯科 開院

日本歯周病学会 会員  
 日本臨床歯周病学会 会員  
 日本口腔インプラント学会 会員  
 日本顎咬合学会 噛み合わせ認定医  
 坂井おとなこども歯科は、全国社会保険労務士会連合会認証「職場環境改善宣言企業」を取得